

7. 各大学提供科目

⑤ 各科目のシラバス

・ 双方向ライブ型遠隔科目

ライブ配信（教養科目）			10101	
倉敷まちづくり基礎論			村山 公保	
Foundation of Kurashiki Community Development				
1～4年次	単位数 2	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 倉敷は全国的に見ても特別な街である。しかし、倉敷市に住んでいても、何が特別なのか、明確に説明できる人は少ない。本講義では、倉敷について理解を深めるとともに、倉敷内外で行われている地域のまちづくり活動について学ぶ。日頃からまちづくりについて考えようとする心を育てながら、まちづくりに参加するときの土台となる基礎力を身につける。 具体的には倉敷の歴史や産業、観光の現状を知るとともに、市民・行政など様々な組織・団体から講師を招いてまちづくりの話の聞いたり、倉敷美観地区を実際に歩いて目で見て肌で感じたり、学生同士で議論したり、それを自分の言葉でレポートにまとめるなどして、まちづくりに関する理解を深め、意識を高める。 科目の運営は、産官学の連携協力(特に倉敷市)を得るとともに、大学コンソーシアム岡山に加入している他大学との単位互換科目として双方向ライブ遠隔授業の形態で実施される。1人ひとりが発言をするという、学生参加型アクティブラーニングのスタイルも取り入れる。授業は、講師が順番に入れ替わるオムニバス形式で実施する。</p> <p>【到達目標】 ・倉敷についての理解を深める。 ・まちづくりに関する興味・関心を高める。 ・自分の考えや意見を持ち、それを発言したり、グループで話し合ったり、文章に書いたりする能力を高める。</p> <p>【授業外学習】 ・外部講師の講演のあとは、毎回、その内容に関するミニレポートを作成し、提出する。 ・グループ単位で、自分たちで決めた場所を歩き、グループ単位でレポートを作成し、それを授業の発表会で発表し、提出する。</p> <p>【注意事項】 ・倉敷芸術科学大学 2203 教室より他大学の学生に向けて双方向ライブ遠隔授業にて行う。 ・外部講師等の都合により日程や内容が変更になる場合がある。授業内容に(未確定)と書いてあるものは内容・実施日が未確定である。4/13 までに決定している予定である。 ・この授業では「学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法」であるアクティブラーニングの手法を取り入れる。グループワークを行うので、グループのメンバと連絡を取り合い、お互いに協力しながら、まち歩き、レポート作成を行うこと。</p>				
<p>【授業内容】 第1回:(4/13):授業の進め方の説明、まち歩きレポートの説明、受講者全員の自己紹介 第2回:(4/20):倉敷市の観光について(未確定) 第3回:(4/27):まち歩きの計画を立てるグループワーク(未確定) 第4回:(5/11):倉敷の歴史について(未確定) 第5回:(5/18):大原美術館誕生の歴史と作品について(未確定) 第6回:(5/25):倉敷市伝建地区・伝美地区の住民によるまちづくりについて(未確定) 第7回:(6/1):今までの講演のまとめと討論(未確定) 第8回:(6/8):倉敷青年会議所の活動について(未確定) 第9回:(6/15):倉敷青年会議所の活動について(未確定) 第10回:(6/22):水島地区の歴史と地域の人によるまちづくりの活動について(未確定) 第11回:(6/29):香川県高松市丸亀町商店街の再開発について(未確定) 第12回:(7/6):行政によるまちづくり(未確定) 第13回:(7/13):リノベーションによるまちづくり(未確定) 第14回:(7/20):個別まち歩き報告会(未確定) 第15回:(7/27):まとめ(未確定)</p>				
<p>【テキスト】 特に使用しない。</p>				
<p>【参考図書】 適宜指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 ミニレポート(60%)、まち歩きレポート(30%)、討論での発言内容など授業に取り組む姿勢(10%)に基づいて、総合的に評価する。</p>				

7. 各大学提供科目

・ 対面授業科目

対面授業（教養科目）			10001
倉敷まちづくり実践論		小山 悦司	
Practice of Kurashiki Community Development			
履修年次	1～4	2単位	後期 1コマ
<p>【授業の目的】 学生自身のキャリア形成力や社会人基礎力を高めるとともに、「学生の元気がまちを元気にする」をコンセプトにした地域の活性化も目的としている。倉敷駅周辺および美観地区での実践的なフィールドワークやグループワーク（アクティブ・ラーニング）を行う。 こうした地域でのまちづくり活動を通して、課題を発見し、データを収集分析して、解決方法を提言できる能力を育成する。 また、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業」（COC事業）として開催される「倉敷みらい講座」への参加を予定している。</p> <p>【注意事項】 「倉敷まちづくり基礎論（前期）」を履修し、単位を取得しておくことが望ましい。 学内での授業に加えて、倉敷駅周辺や美観地区など、学外でも授業を実施する。会場の都合で日程が変更になる場合がある。</p>			
<p>【授業内容】</p> <p>1. オリエンテーション 【10月14日 3限(13:10-14:40)】 2. 倉敷中心市街地のまち歩き 【10月14日 4限(14:55-16:25)】 3. グループ編成+まちづくり実践活動プランの作成 【10月14日 5限(16:40-18:10)】 4～6. グループ活動—学生によるまちづくりの実践— 10/15～11/10の間に阿智神社秋の大祭(10/15)、「倉敷三斎市」(10/15)、「倉敷路地市庭（毎週土曜）」などにて実践活動 ※必要に応じて担当教員が巡回指導 7. 学生によるまちづくり活動の理論事例および基礎理論 【11月11日 3限(13:10-14:40)】 ※実践活動報告レポートⅠ提出 8. 9. 学生によるまちづくり活動の実践 【11月11日 4・5限(14:55-18:10)】 地域課題の解決に向けたグループワーク 10～12. グループ活動—学生によるまちづくりの実践— 11/12～12/15の間に、「倉敷三斎市」(11/19)、「倉敷路地市庭（毎週土曜）」などにて実践活動 ※必要に応じて担当教員が巡回指導 13. まちづくりに向けての提言（グループワーク） 【12月16日 3限(13:10-14:40)】 ※実践活動報告レポートⅡ提出 14. まちづくりに向けての提言（プレゼンテーション） 【12月16日 4限(14:55-16:25)】 15. 倉敷発！学生まちづくりアピール(提言レポート提出) 【12月16日 5限(16:40-18:10)】</p>			
<p>【テキスト】 特に使用しない。</p>			
<p>【参考図書】 適宜指示する。</p>			
<p>【成績評価の方法】 実践活動報告レポートⅠ・Ⅱ（20%）、まちづくり提言レポート（20%）、グループ活動・プレゼンテーション（20%）、実践活動への参加状況（40%）に基づいて、総合的に評価する。</p>			

7. 各大学提供科目

対面授業（芸術学部）				10002
西洋美術史			神原 正明	
History of Western Art				
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 西洋美術の歩みを原始時代から近代の始まりまでをたどっていきます。時代はそれぞれの形の特性を持っています。たとえばエジプトとギリシャではまったく異なった美意識によって、それぞれの形が生まれてきました。両者には優劣の差はないのですが、わたしたちはしばしば現代の美意識で時代の優劣をつけてしまいがちです。ここではそれぞれの時代が生み出した形の誕生の物語を、グローバルな視点から追いかけてみたいと考えています。細かなデータはできるだけ切り捨てて、現在文化遺産として残されている視覚的資料を見ながら、本質的な形の歴史をたどりたいと思っています。一言でいうと「美術作品を通してその背後にある人類の精神文化の普遍性と多様性を理解すること」となります。 配布資料をホームページで公開しています。詳しくは、 http://www.kusa.ac.jp/~kambara/western.htm</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 原始の造形 3. 古代エジプト美術 4. 古代ギリシャ美術 5. 古代ローマ美術 6. 中世ヨーロッパ美術 7. イタリア初期ルネサンス 8. 北方ルネサンス 9. イタリア盛期ルネサンス 10. イタリア・スペインのバロック美術 11. 17世紀オランダ・フランドル美術 12. 17世紀フランス美術 13. ロココ美術 14. 近代美術のはじまり 15. まとめ 				
<p>【テキスト】 『快読・西洋の美術』神原 正明著（勁草書房）</p>				
<p>【参考図書】 『世界美術大全集・西洋編』全28巻（小学館）</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業に取り組む姿勢（40%）、レポート（60%）で評価する。</p>				

7. 各大学提供科目

対面授業（芸術学部）				10003
デザイン史			近藤 研二	
History of Design				
履修年次 1～4	2 単位	前期	1 コマ	
【授業の目的】 産業革命以降におけるデザインが真の現代的意味をそなえるまでの経過を、美術の歴史的な流れや社会的背景を踏まえながら考察する。				
【授業内容】 1. オリエンテーション 2. 19世紀前期の建築・工芸 3. 近代グラフィックの始まり 4. ウイリアム・モリスの美術工芸運動 5. アールヌーボー運動とその意義 6. 新しい材料と工学の発展 7. ドイツ工作連盟とその周辺 8. バウハウス確立までのヨーロッパとアメリカ 9. バウハウスの理念（1） 10. バウハウスの理念（2） 11. アメリカ大陸のデザイン動向 12. 第二次大戦後のモダンデザインと美術 13. 第二次大戦後のグラフィックデザイン 14. 1970年以降のポストモダンデザインと美術 15. まとめ				
【テキスト】 使用しない				
【参考図書】 適宜紹介する。				
【成績評価の方法】 授業に取り組む姿勢、課題レポートと定期試験で評価を行う。 評価は、受講態度（30%）、定期試験（70%）の割合で評価する。				

7. 各大学提供科目

対面授業（産業科学技術学部）				10004
倉敷産業研究			黒田明雄 西川高史 村山公保	
Kurashiki Industrial Research				
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 岡山・倉敷地域を中心に企業経営の現場で日々奮闘されている経営者や業界リーダーの方々を週替わりで招聘し、起業のいきさつや企業経営のポイントを、それぞれ独自の切り口で語っていただき、経営情報学科生の起業・企業経営上の意識向上を図る。企業見学を2回予定している。経営情報学科生としてのモチベーション向上と経営的センスの育成を図る。木曜日4限（14:55～）</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（スケジュール説明、受講マナーについて） 2. 第1回 岡山県経済と中小企業（外部講師）10/5 3. 第2回 地域経済の活性化に金融機関の果たす役割（外部講師）10/12 4. 第3回 地域の魅力を世界へ発信するNPO（外部講師）10/19 5. 第4回 会社経営とIT（外部講師）10/26 6. 第5回 倉敷の産業変遷と将来展望（外部講師）11/2 7. 企業見学1 8. 中間まとめ 9. 第6回 岡山県企業と海外進出（外部講師）11/30 10. 第7回 起業と飲食店の経営（外部講師）12/7 11. 第8回 道の駅と地域貢献（外部講師）12/14 12. 第9回 ホテルビジネスと地域創生（外部講師）1/11 13. 第10回 両備ホールディングスの事業展開（外部講師）1/18 14. 企業見学2 15. 総まとめ <p>【テキスト】 使用しない。</p>				
<p>【参考図書】 特になし。</p>				
<p>【成績評価の方法】 レポート及び受講態度をそれぞれ7対3の割合で点数化して評価する。</p>				

7. 各大学提供科目

対面授業（生命科学部）				10005
水族飼育技術論				山野 ひとみ
Breeding Technology of Aquatic Animals				
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 水族飼育は多くの場合、野生水族を限られた空間に收容することから始まり、そのために発生する、社会的、生物学的及び技術的な問題点の全てを解決することで成立する。特に飼料の栄養やそれに関連する健康管理の問題について学ぶ。</p> <p>【到達目標】 水族飼育によって起こる様々な問題点と解決方法を理解する。</p> <p>【授業外学習】 毎回の配布資料に添付する「予習のためのキーワード」について次回の授業前に必ず調べておくこと。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水族を飼育するために 2. 飼料と栄養①糖質 3. 飼料と栄養②タンパク質 4. 飼料と栄養③脂質 5. 飼料と栄養④ビタミン 6. 飼料と栄養⑤ミネラル 7. 小テスト 8. 水族と病気①水族の病気 9. 水族と病気②ウイルス、細菌病 10. 水族と病気③原生動物、寄生虫病 11. 水族の収集と輸送 12. 水槽と関連技術 13. 生態系の構築①同種間の関係 14. 生態系の構築②種間関係 15. 飼育水の浄化 <p>【テキスト】 なし。必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>【参考図書】 渡邊武編「改訂 魚類の栄養と餌料」(恒星社厚生閣)、日本ビタミン学会編「ビタミンの辞典」(朝倉書店) 日本動物園水族館協会編「新・飼育ハンドブック」1～4巻</p> <p>【成績評価の方法】 小テスト(30%)、定期試験(70%)。</p>				

7. 各大学提供科目

対面授業（生命科学部）				10006
バイオメカニクス			枝松 千尋	
Biomechanics				
履修年次 3～4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 安全に効率的にスポーツのパフォーマンスを向上させるためには、スポーツ技術の裏側にあるものを理解し、分析し、そして新たなものを創造することが必要である。 本講義では、力学・人体解剖学・運動生理学の複合領域であるバイオメカニクスを学び、科学的な視点からスポーツ技術を理解することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力学の基礎を身につける。 ・スポーツ技術をバイオメカニクスの観点から考察できる能力を身につける。 <p>【連絡事項】 電卓を持参すること。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 身体のバイオメカニクスの特性と動作解析へのアプローチ法 3. 身体重心（慣性質量と慣性モーメント） 4. 加速度・速度・変位 5. 力 6. 運動量と力積 7. 投射体の運動 8. 力学的エネルギー・仕事・パワー 9. 力のモーメントと角運動量 10. 関節トルク 11. 流体力学（空気・水の力とスポーツ） 12. スキルのバイオメカニクス（1） 13. スキルのバイオメカニクス（2） 14. スキルのバイオメカニクス（3） 15. まとめ 				
<p>【テキスト】 阿江 通良・藤井 範久 著「スポーツバイオメカニクス20項」（朝倉書店）</p>				
<p>【参考図書】 プリント等配布</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業に取り組む姿勢と小テスト（40%）、定期試験（60%）により評価する。</p>				

7. 各大学提供科目

対面授業（生命科学部）				10007
医学概論			森 康浩	
The introduction to medical science				
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 これからの医療の特徴の一つは、医師、看護師、臨床検査技師、臨床工学技士、放射線技師、栄養士等専門性の異なる様々なスタッフがチームを組み、さらには福祉関係など医療に関連する分野の職種とも連携を取りながら、質の高い医療サービスを展開する点にある。本講義では医療全体を見渡す広い視野を持ち、医療を支える専門職に共通の基礎知識を学ぶことを目的とする。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療と倫理 2. 医学の歴史① 3. 医学の歴史② 4. 遺伝子学概論① 5. 遺伝子学概論② 6. 腫瘍学概論① 7. 腫瘍学概論② 8. 腫瘍学各論①-近年の動向を踏まえて 9. 腫瘍学各論②-近年の動向を踏まえて 10. 免疫学概論 11. 感染症学概論 12. 感染症学各論①-近年の動向を踏まえて 13. 感染症学各論②-近年の動向を踏まえて 14. 再生医療① 15. 再生医療② 				
【テキスト】				
<p>【参考図書】 現代医学概論 第2版 医歯薬出版</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業に取り組む姿勢(30%)、定期試験(70%)で評価する。</p>				